

経営マネジメントの本質 社長の右腕になる役員・経営幹部の役割と仕事



役員・経営幹部は、経営者の右腕・分身として、会社の成長を牽引していくことを期待されています。その重要な責務を果たしていくためには、まずは、役員・経営幹部としての役割と仕事についての理解を深めることが大切です。さらに、会社経営の基本について理解を深めることも必要となります。どのようにして会社組織をマネジメントして、事業を拡大、会社を成長させていくか、その方法論を知る必要があります。本セミナーは、経営実務経験豊富な経営コンサルタントが、役員・経営幹部の役割と仕事、そして成果を上げるための会社組織のマネジメントの進め方について、実例や体験談を交えながら、わかりやすく解説します。

研修成果

- ① 経営層（役員・経営幹部）こそが「マネジメントのプロ」である真意を徹底考察
- ② 経営層の具体的なミッションとなるコーポレートマネジメント（＝全社視点での組織マネジメントと競争優位に繋がるビジネスモデルの構築）の役割を徹底考察
- ③ 役員の究極のミッションとは、社長を支え、最大の経営資源となる「人材」を「人財」と捉え、人を最大限生かすことであることの真意を理解する

開催概要

日 時：2025年 11月 20日（木）9:30～16:30

会 場：姫路商工会議所 会議室

定 員：30名（最少開講人数10名）

対 象：経営幹部（取締役・執行役員）、次期幹部

受講料

●姫路市内に本店がある中小企業

会員 11,400 円／一般 18,000 円（1名・税込）

※姫路市から補助が出ますので、上記金額となります。

※「本店」：会社が事業を行う法律上の本拠地

●その他の企業

会員 15,400 円／一般 22,000 円（1名・税込）

※原則、ご入金頂いた受講料は講座中止以外は返金致しません。

※当日キャンセルでご入金がない場合も受講料を徴収致します。

※振込手数料は各自でご負担下さい。

【振込期日】

開催日までに下記口座へお振込みください。

開講日 2週間前をめどに、請求書・受講証を郵送します。

<振込先> 三井住友銀行 近畿第一支店〔支店コード974〕
(普通) 5 3 7 3 1 2 9 姫路商工会議所

研修内容

■プロローグ：研修の目的と動機付け

【1】経営の好循環サイクルの確立こそが経営の目的
～そもそも、役員会議で議論すべきことは？～

【2】時代の変化＆コロナ禍で厳しさが増す経営層の苦悩

【3】役員及び経営幹部の役割とは？

～管理職（部課長クラス）との相違点とは？～

【4】プレイヤーのプロとマネジメントのプロは異なる！

目指すは名将！役員はまさにマネジメントのスーパープロ

【5】社長の参謀となるべき3つのパターン

（最高の右腕となる秘訣）

【6】経営層が考えるべき戦略とは？

【7】サーバントリーダーシップの発揮

【8】E Sとは、結局は、上司満足度のこと！

講師紹介

ビジネス ディベロップ サポート 代表

大軽 俊史（おおかる としちか）氏

同志社大学商学部卒。マーケティング会社での営業実務

経験を経て、大手経営コンサルティング会社に入社。

事業戦略・人事戦略構築支援コンサルティングで大きな成果を

出す。平成20年独立。コンサルタント歴は25年以上。

講演日数は3000日を超える。事業戦略から人事・組織戦略

という経営戦略の一連のプロセスをワンストップで構築支援する

数少ないコンサルタント。理論と情熱を融合したスタイルに定評がある。



受講アンケート結果

- ・プレイヤーのプロと、マネジメントのプロの違いを改めて理解しました。
- ・メンバーの為に仕事を気持ちよく出来る環境を目指したいと思います。
- ・今後に向けて非常に役に立つ講座でした。

満足度
100%

申込方法 WEBでお申込みいただくとスムーズです

①WEB（HP申込フォームよりお申込ください。）

②FAX・郵送（下記申込書に必要事項をご記入の上、送付ください。）

【お問い合わせ先】〒670-8505 姫路市下寺町43 姫路商工会議所 中小企業相談所 企業支援担当

TEL：079-223-6557 FAX：079-222-6005 E-mail：kenshu@himeji-cci.or.jp

2025/11/20 役員・経営幹部の役割と仕事 申込書 企業支援担当宛 FAX:079-222-6005

企業名		TEL	
所在地	〒	FAX	
受講指示者名		受講指示者役職	
E-mail		★姫路市内に本店がある中小企業である 該当する方に○ はい・いいえ	

受講者名	受講者名フリガナ	役職	性別	年齢
			男・女	
			男・女	
			男・女	

ご記入頂いた情報は、当所からの各種連絡、情報提供、セミナー参加者の実態調査・分析のために利用する他、講師に提供することがあります。